

神戸大学海洋政策科学部オープンキャンパス2025

「研究室訪問ツアー」

今年のオープンキャンパスでは、下記の6研究室を小グループに分かれて見学する「研究室訪問ツアー」を企画しています。

実施時間：①10:20~11:35 ②12:45~14:00

(①、②は移動時間15分を含みます。)

集合場所：総合学術交流棟1階 梅木Yホール(①10:20、②12:45集合)

参加定員：各コース 20名

※ 事前申込みが必要です。(先着順)

※ 事前申込み時に下記A・B・Cいずれかのコースを選択してご参加いただけます。

※ 「研究室訪問ツアー」と「海神丸船内見学」はどちらか一方のみ申込みいただけます。

※ 保護者の方はご同伴いただけませんので、あらかじめご了承ください。

研究室訪問ツアー Aコース(定員20名): 海洋基礎科学領域

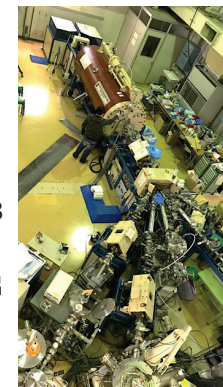
○ 海洋・気象研究室(応用気象分野)

日本では、洋上風力発電をはじめとする再生可能エネルギーを将来の主力電源と位置付けて、その導入が急ピッチで進められています。当研究室は、洋上風力資源マップや風況観測ガイドブックの作成、試験サイトの運営等を通して、気象学的な側面から、我が国の洋上風力発電の導入促進に貢献しています。当日はその最前線の取り組みについて紹介します。



○ 加速器・粒子線実験施設 TAcLKU

加速器・粒子線実験施設に設置されている静電加速器5SDH-2は様々なイオン種を加速します。特に重水素の原子核である重陽子dが加速できる希少な加速器です。重水素ビームを使って、 $d + \text{He-3} \rightarrow \text{He-4} + p$ という核反応により、極微量元素He-3の検出に成功しました(陽子pを検出)。これは常温核融合を実証する成果です。人類の新エネルギー開発にあなたも参加しませんか?

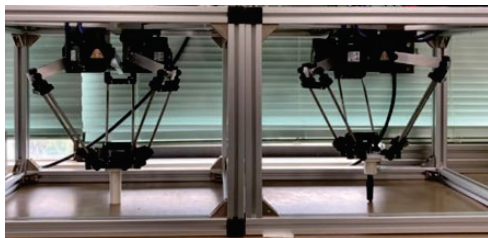


(Tandem Accelerator Laboratory of Kobe University; TAcLKU)

研究室訪問ツアー Bコース(定員20名): 海洋応用科学領域・海技ライセンスコース機関学領域

○ 電気工学研究室 (モーションコントロール分野)

力覚情報を基盤としたモーションコントロール技術を活用したロボット技術について紹介します。



○ 船用機関プラントシミュレータ

大型船の機関プラントシステムをモデル化した教育装置です。授業や研究での活用を紹介します。



研究室訪問ツアー Cコース(定員20名): 海洋ガバナンス領域・海技ライセンスコース航海学領域

○ 交通経営論研究室

皆さんが普段使う鉄道やバス、フェリーには、直接使うことから得られる価値以外にも、「普段は使わないけど雨のときには使う」や「地域のシンボル」など多くの価値があります。これらの価値は皆さんの心の中にあるものなので、測ることは難しいのですが、経済学的方法により金銭価値(お金にすると何円)で計測する仮想市場法(CVM)を紹介します。



○ 海事安全管理研究室

船舶運航に関わる様々なデータを活用することで、より安全な船舶運航を目指した研究をおこなっています。今回は神戸大学の練習船でも実際に使用されている自動衝突予防援助装置を用いて大阪湾の船舶状況の説明や研究での活用について紹介します。

